

# スカイクリヤー

汚れが付着しにくく、汚れても落としやすい  
クリヤー仕上げ塗材です。

シリコンにより汚れが付きにくい、落書き防止機能を付加したクリヤー材です。  
ついてしまった汚れも簡単に専用溶剤で落とすことができ、長期間美観を保ちます。

## ■特長

1. 汚れや落書きが簡単に落とせます。  
付着した汚れは、専用溶剤で簡単に拭き取ることができます。
2. 汚れをはじき、汚れにくい塗膜が得られます。  
配合されたシリコン樹脂が、汚れを寄せ付けません。
3. 擦り傷がつきづらく、光沢の減少をおさえます。  
耐スリキズ性を有する特殊な樹脂を採用しています。
4. 付着性が低く、粘着テープ等が貼り付きにくい塗膜です。  
シリコン樹脂により、張り紙が貼りにくくなっています。
5. 耐洗浄性に優れています。  
専用シンナーによる洗浄で、傷をつけずにきれいに消せます。

## ■用途

1. 建物の外壁、塀等の汚れ・落書き防止
2. トンネル内部、地下道の壁面の汚れ・落書き防止
3. 壁画の保護



## ■製品仕様

### ●容量・荷姿・配合比

品名	容量			配合比 (重量比)	
	A液	B液	セット	A液	B液
スカイクリヤー	10kg	2kg	12kg	5	1
	3kg	0.6kg	3.6kg		
スカイ洗浄用 シンナー	—	—	3.5kg	—	
	—	—	15kg		

### ●一般物性

試験項目	試験結果	試験条件
引っかかり硬度	2H	JIS K 5600 鉛筆法
鏡面光沢度	90以上	JIS K 5600 入射角60度
摩耗質量	55mg	JIS K 7204 テーパー式摩耗試験機
耐汚染性	合格	当社粉状カーボン浸漬試験
耐洗浄性	合格	当社汚れ落とし試験

※試験結果は、弊社における試験に基づくもので保証値ではありません。

## ■標準工法

### ●S2 工法

工程	材料名	使用量 kg/m <sup>2</sup>	上塗り 可能時間	備考
1	素地調整	——	——	
2	フローン エポブラ速乾	0.15	3~48 時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
3	フローン エポブラ速乾	0.15	3~48 時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
4	AUコート トップ14シンナー	0.12 0.04	4~48 時間	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、トップ14シンナーにて30%希釈し、ハケ、中毛ローラーにて塗布。
5	AUコート トップ14シンナー	0.12 0.04	4~48 時間	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、トップ14シンナーにて30%希釈し、ハケ、中毛ローラーにて塗布。
6	スカイクリヤー	0.12	——	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、短毛ローラーにて塗布。

### ●S3工法(クリヤー仕上)

工程	材料名	使用量 kg/m <sup>2</sup>	上塗り 可能時間	備考
1	素地調整	——	——	
2	AUコートクリヤー トップ14シンナー	0.15 0.08	4~48 時間	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、トップ14シンナーにて50%希釈し、ハケ、中毛ローラーにて塗布。
3	AUコートクリヤー トップ14シンナー	0.15 0.08	4~48 時間	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、トップ14シンナーにて50%希釈し、ハケ、中毛ローラーにて塗布。
4	スカイクリヤー	0.12	——	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、短毛ローラーにて塗布。

- ※1. スカイクリヤーはA液単独だけで十分に攪拌してから計量し、B液と混合、攪拌して塗布して下さい。
- ※2. スカイクリヤーは、シリコン樹脂を配合しているため重ね塗りができません。塗り残しのないように塗布して下さい。
- ※3. 塗り替え時、旧塗膜がある場合には当社にご相談下さい。
- ※4. 塗り替え箇所の汚れや落書きは、サンダーケレンまたは高圧洗浄(9.8~14.7MPa)にて除去して下さい。
- ※5. 施工後、スカイクリヤーの性能が発現するまで、2~3日間の養生が必要です。

## ■施工上の注意事項

### スカイクリヤー

- 下地は、レイトンス、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に除去し、十分に乾燥させておくことが必要です。
- コンクリート、モルタルの養生不足は、水分の影響により、床材層のフクレ・硬化不良を、またアルカリの影響により、密着不足を招く場合があります。含水率8%以下、pH9.5以下になってから施工してください。湿度80%以上での施工は避けて下さい。コンクリート、モルタル打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。また降雨直後で下地に水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥して下さい。
- コンクリート、モルタル等に発生した亀裂は、Uカットして、エポパテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように処理して下さい。
- スカイクリヤーは、2液の反応型塗料ですので、**配合比はA液:B液=5:1(重量比)**で計量し、充分攪拌したのち使用してください。
- A液とB液の混合と同時に反応が進み、次第に粘度が上昇しゲル化しますので、使用可能時間(ポットライフ)内に使い切るようにして下さい。**使用可能時間(ポットライフ)は3時間(23℃)**です。施工時の温度、施工面積、作業人数等を考慮して、無駄のないように材料の配合をして下さい。
- 基本的にシンナー希釈は必要ありませんが、希釈が必要な場合には、**トップ14シンナーで0~10%希釈**してご使用下さい。

- スカイクリヤーは溶剤型塗料ですので、火気と換気には充分注意して下さい。
- 施工時の温度について(5℃以下では施工しないで下さい。)硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化発生)	15℃~25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
--------------------------------	---------------	-----------------------------

- 硬化剤(B液)は空気中の湿度と反応する性質を持っておりますので、開封後はすみやかに使い切ってください。主剤(A液)も同様に使い切ってください。
- 施工時には引火、爆発、中毒等の事故防止のため、充分な換気をし、発火原因となる電気溶接、ガス溶接との並行作業は避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。

## ■スカイクリヤー塗装後のスカイ洗浄用シンナーでの落書き除去方法



- ・洗浄道具  
スカイ洗浄用シンナー、シンナーを入れる容器、ローラー、布ウエス複数枚
- ・周りを汚さないように保護するもの  
新聞紙、テープ
- ・安全のために身に付けるもの  
耐溶剤性手袋、防毒マスク、保護メガネ



スカイクリヤーの上から落書きをすると、上図のようにはじきます。  
(家庭用ラッカースプレーで落書き)



② 約2分間そのまま放置してください。  
うまく落ちない場合は厚塗り部分の除去方法へ(裏面にあります)



④ 溶け出した汚れを布ウエスで拭き取って下さい。



① スカイ洗浄用シンナーを含ませた、中毛ローラーで、落書き部分にシンナーを置いてくるように塗布して下さい。



③ 再度、ローラーを転がすと落書きが簡単に溶け出てきます。



⑤ 新しい布ウエスでもう一度乾拭きを行なうと、きれいになります。

## ■落書きの厚塗り部分除去方法

落書きの薄い部分等、ほとんどの落書きは除去できます。しかし、落書きの厚い部分や重なった部分、タレ部分等は除去できないことがあります。その場合は下記の方法で除去して下さい。



落書きのタレ部分  
(家庭用ラッカースプレー使用)



②新しい布ウエスで乾拭きを行って下さい。



①スカイ洗浄用シンナーをウエスに含ませ、落としきれなかった部分をやや力をいれてこすり取って下さい。  
この時、つめ等でこすると除去が容易になります。

## ■除去時の注意事項

### スカイ洗浄用シンナー

1. 汚れを落としたシンナーが周りにつく可能性があるため、保護シート等で養生を行って下さい。
2. 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必ず保護具（耐溶剤性手袋、保護メガネ、防毒マスク等）を着用して下さい。
3. くぼみに入り込んだ汚れは、細かな刷毛を用いてくぼみからかき出すように取り除いて下さい。
4. スカイ洗浄用シンナーは、スカイクリーナー以外の塗膜や素材に書かれた落書きの除去にも使用出来ませんが、素材の表面状態によっては、汚れ・落書きを十分に除去することはできません。また、塗膜の耐溶剤性によっては、塗膜が溶け出し始める恐れがあります。
5. 取り扱い後は手洗い及びうがいを充分に行って下さい。

引火性あり	警 告	感作性あり	有害性あり
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 引火性の液体である。</li> <li>2. 有機溶剤中毒の恐れがあります。</li> <li>3. 健康に有毒な物質を含有している。</li> <li>4. 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがあります。</li> <li>5. 蒸気を吸入すると人により喘息様症状を起こすことがあります。</li> </ol>		
業務用	<p>&lt;注意事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸引したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますから取り扱いについては充分ご注意ください。</li> <li>2. アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取り扱いを避けてください。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)</li> </ol>		

\*取り扱い上の注意については、容器に表示された注意事項をご参照下さい。

\*詳細な内容が必要な場合には、製品安全シート (MSDS) をご参照下さい。

\*製品改良のため予告なく、仕様、性能を変更する場合がございます。

●お問い合わせは.....

## 東日本塗料株式会社

本社 / 〒124-0006	東京都葛飾区堀切3丁目25番18号	TEL. 03 (3693) 0851 (代)	FAX. 03 (3697) 2306
埼玉工場 / 〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1丁目13番地	TEL. 0480 (65) 1515 (代)	FAX. 0480 (65) 1518
札幌営業所 / 〒065-0043	札幌市東区苗穂町9丁目4番6号	TEL. 011 (743) 5271 (代)	FAX. 011 (743) 5273
仙台営業所 / 〒983-0045	仙台市宮城野区宮城野1丁目4番20号	TEL. 022 (291) 7372 (代)	FAX. 022 (291) 7320
新潟営業所 / 〒950-0871	新潟市東区山木戸3丁目7番9号	TEL. 025 (273) 5749 (代)	FAX. 025 (274) 6730
静岡営業所 / 〒422-8037	静岡県静岡市駿河区下島128番地-1	TEL. 054 (238) 8061 (代)	FAX. 054 (238) 8063